

R 7. 7. 1 第1回学校のあり方検討委員会の記録

【本委員会の方向性】

- ・最善の教育環境を考える際は、「新温泉町の教育を良くしたい」という考えをもって協議したい。
- ・本委員会の資料作成においては、統合ありきではなく、統合と統合しない場合を同程度で扱ってほしい。
- ・教員として学校を見てきた経験でいうと、大きな学校では多様な意見を交わしたり、小さな学校では人間関係が固定化したりする面もある。ただ、今は、答えありきで議論するのではなく、フラットにメリットやデメリットを話し合う必要がある。
- ・統廃合を実施したのであれば、その統廃合がどうだったのか、検証をすることも必要ではないか。
- ・地域課題を、学校だけで解消するには難しい面がある。
- ・この会議は、いろんな視点を踏まえて議論することが大切である。例えば、学校に係る予算という視点では、人口が減る中、予算規模をそのまま維持することは難しいと考える。可能な限り様々な視点で検討したい。

【現在の新温泉町の教育】

- ・地域課題と言え、すでに過去に学校が統合を行っている。学校は地域の宝と言え、学校がなくなれば地域が発展しないのではないかと。統合の影響を地域の声として聞くことは重要である。
- ・浜坂東小学校は、児童数が一番少ない。ただ、保護者、地域が一体となって子どもを育てている。人数だけでなく、様々な視点で考える必要がある。
- ・浜坂地域には、相撲が伝統的に大切にされている。小さな取組が大相撲を呼ぶような広がりを見せているので、小さな相撲大会を続けている学校も大切にしてほしい。
- ・学校は「学び」が大切である。現在の学校は、校区の特色を生かして「学び」をしている。
- ・人数が少なくなり、複式学級ができてはいるが、「複式学級＝悪」ではない。
- ・現状では、それぞれの小学校でリーダーを育てていただき、中学校でも活躍をしている。
- ・学力を育てるという視点で考えると、児童が教室にいっぱいの方が学力が高められるかという疑問がある。
- ・複式学級がある状況で考えると、今まで無かった関わりが生まれ、良い変化が見られる。複式学級は、工夫次第で利点を生かすことができる。
- ・親としては、家の近くの学校に通わせたいと思う。今の学校があってほしいと思う。
- ・小規模の良さはあり、今は良いが、大学や社会に出たときにうまくやっていけるだろうかという不安は正直ある。
- ・身近な生活を考えたとき、核家族が増え、祖父母との交流がなくなっている。
- ・他府県に住んでいるときは、核家族だったが、新温泉町に住み祖父母と生活すると学ぶ

ことも多い。

- ・地域課題を学校でどうするかという議論は、私にとっては問題が大きすぎる。
- ・就学前の子どもがいる親として、まずは、子どもがすくすくと育ってほしいし、先生たちとの関わりのなかで、いろんなことを学んでほしいと思っている。
- ・大規模校と小規模校で勤務した経験で言えば、それぞれの学校に、それぞれの良さがある。
- ・それぞれの学校の子どもたちを伸ばすために、それぞれの学校にあったやり方で教師は、教育をしている。
- ・コミュニティ・スクールが、小中高と整備されているのは、新温泉町の特色であり、地域との密着は深いと思う。

【今後に向けて】

- ・仮に統廃合した場合、地域との関わりやふるさと教育が薄れないか懸念している。
- ・学校は、地域の特色や関わりがなしには、運営できないと思う。
- ・子どもたちが、地域に出かけ、地域を学ぶことで、地域は元気になり、活性化する。そのような取組を工夫してほしい。
- ・地域課題を踏まえた学校の役割と言われるが、地域課題は限りなくある。そのような中、学校、保護者、地域、行政で少しギャップがあるように感じる。現状は、それぞれが一方通行のような気がする。学校を残してほしいという意見もあれば、保護者として小規模すぎる教育に不安を感じている人もいる。
- ・学校をくつつければ良いという意見もあるが、簡単にくつつけて課題が解決するとは思わない。大切なのは、それぞれの世代や組織に起きているギャップをどう埋めていくかの取組も重要だと思う。その一つに、アンケートなどがあると思う。
- ・そのアンケートを取るだけでは平行線になることも多いので、そこから踏み込んだアクションも大切だと思う。
- ・情報を得て、議論することも大切。ただ直感的な考えで議論する場合と、さまざまな情報を得て議論する場合では、結果が異なると思う。そういう面で、この会は、多面的な情報が必要であると思い、今回は、それぞれの立場で自由に意見を出してもらっている。
- ・率直な思いだが、今の学年規模が10人～20人くらいの児童数が維持できるのであれば、個人的には統廃合をしなくて良いと思っている。しかし、将来、学年が1～2人、また0人のような状況が起きるのであれば話は別だと思う。
- ・一概に少人数と言っても、議論する際、どれくらいの規模を少人数と思っているかは重要である。
- ・現状の出生数から予想できる将来予測より、実際は出生数が大きく減少しているところからくる将来に大きな不安を感じる。出生数が予想を大きく下回る現状は、地域の活性化に大きな影響が出てくるし、当然、教育にも影響が出てくると思う。
- ・人口減少をどうするかという話と、学校をどうするかの話と一緒にしないほうが良い。例えばの話だが、結果として浜坂地域の東西南北と一緒にして子どもや保護者、地域が

喜び、外の地域からその学校を求めて人が集まってくるような学校ができれば、それは一つのゴールだと思う。いきなり人をどう増やすかの議論は、違う気がする。

- ・「規模に応じた魅力ある学校づくり」という視点が重要である。
- ・学校の先生が、町の人口を増やすわけではないので、学校を中心に議論することは納得できる。私たちは他府県に住んでいて、新温泉町に引っ越してきたとき、はじめは不便だと感じた。ただ、今は新温泉町が大好きである。やはり、その地域性を生かした学校づくりを深めることが大切なのではないだろうか。
- ・幅広く経営面などの現状を踏まえて、学校がこうあってほしいと考えている保護者は少ないと思う。自分の子どもにとって、より良い学校であってほしいと思っているところが現状である。ただ、今、どのような状況なのか情報を幅広く知ることは大切。その上で、もし統廃合のような話になれば、統廃合に反対する保護者の考えを大きく変えるような教育をしてほしい。
- ・大規模校になった場合、大規模校に合う子どもと、合わない子どもはいると思う。本当は、子ども一人一人にあった学校を選択してほしい。ただ、大規模校の様子も分かっていないので、できれば他の学校の様子を知りたい。心を育てるのは、小学校の時期が大切なので、経営面などだけで学校のあり方を考えず、中・高等学校と違った小学校のあり方を考えてほしいし、保護者が選択できると良い。
- ・学校の運営上の課題は行政側が議論するべきで、ここで議論するものではない。
- ・学校選択制や、小規模特認校などの情報は、次回に情報提供をしてもらいたい。
- ・現在、学校で放課後に地域指導者から学習支援をしていただくチャレンジタイムという取組をしてもらっている。学校では、勉強を重視してほしい。地域の方々からいろんな事を学び、視野を広げてほしい。
- ・すでに行った統廃合を踏まえ、統合後の小学校区の児童数、生徒数がどうなったかのデータを次回、教えてもらいたい。
- ・学校に通いやすいところに人は移動するのではないかとと思っている。
- ・地域課題は、地域の特色とも言える。その上で、予算面についてもどうなっているのか知りたい。
- ・限定した学校しか知らないなので、他の学校の様子や、地域との関わりを知りたい。
- ・今、生まれた子どもが小学校に入学する6年後は、人数がかなり減ることがわかる。そのころになると、自分の子どもは卒業をしているので、6年後に小学校に入学する親がどう思っているのかは知りたい。
- ・便がいいところに若い人が引っ越すのは自然な流れだと思う。
- ・仮に、統合することになれば、中心部だけの視点ではなく、交通手段など統合される側の視点も重視してほしい。
- ・若い人は、子どもを学校に通わせやすいところや、店が多くある都会などに引っ越す人が多い。そうなれば、地域は衰退していく。すでに、学校の統廃合がされているので、地域から学校がなくなってどう思っているのかのアンケートも必要ではないか。
- ・地域や、子ども、これから学校に入学する子の保護者など、多様な意見を聞くことが必要。
- ・アンケートは、結果ありきで行われるアンケートもある。そのため、聞く項目などには

細心の注意をし、点検しながら実施をしてもらいたい。

- 今を0スタートで考えると、0を1にするのは難しい。そうかと言って、変わったか、変わってないかのような中途半端な動きはしない方がよい。もし、統合するなら、地元はもちろん、外から新温泉町はおもしろそうだなと移動してくるくらいのインパクトになる動きをしてほしい。
- 「変わろうよ」という視点は大切。統廃合しない選択肢をとっても変わってほしいし、統廃合する選択肢をとっても変わってほしい。ただ、統合当時、奥八田小学校の児童だった立場からすると、吸収された印象はある。統合をするなら吸収されたと思う変化ではなく、魅力ある学校を創るという変化であってほしい。魅力ある学校ができれば、未来に明るい展望は持てると思う。